

## レッサーパンダの カツオ君、 歯周病でダウン!?

今年1月に川崎市夢見ヶ崎動物園に「婿入り」した、レッサーパンダのカツオ君（オス6歳）が歯周病で奥歯を4本抜歯したと新聞で報じられました。左目下の腫れが目薬では一向に治らないため、全身麻酔下で口腔内を診察したところ、重症の歯周病が見つかりました。歯ぐきの炎症で歯が数本ぐらつき、奥歯はピンセットで抜けるくらいだったそうです。

一般に野生動物は、むし歯や歯周病には罹患しないものですが、飼育下では食生活の変化などにより、人間と同じような病気になることは昔から指摘されていました。

通常レッサーパンダの主食は笹ですが、カツオ君は笹が嫌いで、以前の市川市動物園時代から固形飼料やバナナ、リンゴばかり食べていたそうです。

現飼育担当で獣医の河尻先生曰く「竹の葉である笹は繊維質で歯磨き効果がある。それを食べずに固形飼料やバナナばかり食べていたため、歯に汚れがたまっただけではないか」。カツオ君が自分でブラッシングするはずもなく、積みも積もった歯垢が歯石

歯が、イタイヨー!!



になり、あげくの果て重症の歯周病になったと推測されます。

私たち人間も、加工食品を好んで食している以上、できるだけ繊維質に富んだ食品〔昔ながらの日本の伝統食。例えば、れんこん・ごぼうの煮炊きしたものや、ふき・高野豆腐・生利節（または生節）の煮物など〕を選ぶ必要があります。

一口30回噛み、唾液をよく出し、そして日ごろからの食後のブラッシング、それだけでは歯垢は

半分程度しか取り除けません。フロッシング（フロッシングの併用により歯垢除去率は90%になる）や、デンタルリンス（30秒間で広範囲の口腔有害雑菌を減少させて12時間にわたって歯垢および歯肉炎を予防することが立証されている）の併用で、くれぐれもカツオ君のようにはならないで欲しいものです。

話はカツオ君に戻りますが、市川市動物園飼育担当者からも繁殖力は折り紙付きと期待されていただけに、せっかくのトレードを活かすためにも一日も早い復帰が待たれるところです。

### 診療日記

初めまして、相澤です。未経験から働き始めて半年が経ちました。日々、勉強しながら頑張っています。

患者さんにとって、歯医者さんはとても怖いイメージがあると思います。そんな患者さんの不安や恐怖感を私達の笑顔と気配り

で少しでも取り除けたらと思っています。これからも一生懸命頑張りますので、宜しくお願いいたします。

\* \* \*

早いもので今年もあと2ヶ月足らずとなりました。今年も皆様にとってどんな年だったでしょうか。

自分にとっては、おかげでいる立場が変わり、かなりの環境変化がありました。来年は、少しでもその経験が皆様に還元できますよう努力する所存でございます。来年もスタッフ一同頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。